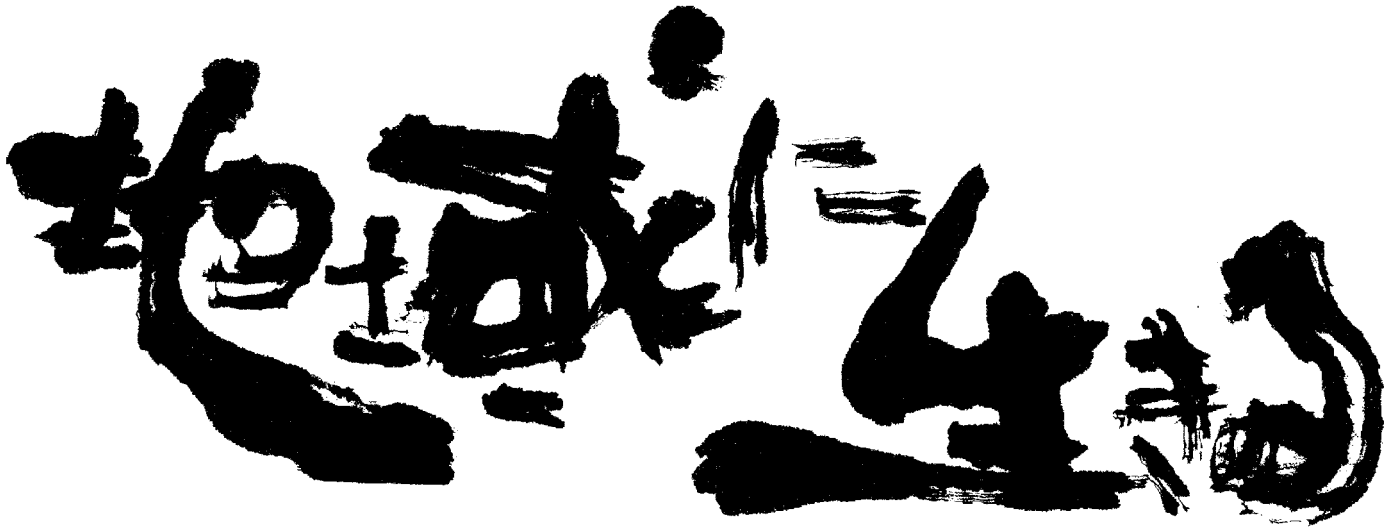


ひゅーまん ねつとわーく



2020年4月発行／第81号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



児童発達支援部 児童デイサービスセンター anでの療育の様子

左上：先生と活動のふりかえり

右上：手順書を見てクッキング

左下：まだかな～♪

右下：先生とクッキング

令和2年度 社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針策定にあたって



社会福祉法人 北摂杉の子会

理事長 松 上 利 男

はじめに

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、新年度を迎えることになりました。法人・事業所運営に当たっては、利用者と職員の方々への感染防止に注力しつつ、支援サービスの継続した提供を行って参りたいと存じています。

引き続き、利用者ご家族の皆様、行政・関係機関、ご支援を頂いている皆様からの法人・事業所運営に対するご理解とご協力の程、衷心よりお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染防止の取り組みとともに利用者支援に注力されている職員の皆様に対しまして感謝いたします。

以下7点の基本的視点に基づいて、令和2年度社会福祉法人北摂杉の子会年度方針を策定いたしました。掲げました目標達成に向けて役職員一丸となって実践いたしますので、重ねまして、ご理解とご尽力の程、宜しくお願い申し上げます。

1. 社会福祉法人を取り巻く経済・社会的環境

令和2年度の日本経済予測については、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速などの影響を受け、日本の実質経済成長率の予測は、0%台半ばから後半と推測されています。

しかし、中国武漢で昨年12月に発生した新型コロナウイルスの日本及び世界への感染拡大により、「その流行が長期化・深刻化すれば、企業倒産の拡大などを背景に、2019・2020年度の成長率が、2年連続でマイナス成長率に陥る可能性」(日本総研)が指摘されています。「経済活動抑制のピークアウトが6月末の場合、20年度のGDP成長率▲0.5%、経済活動抑制のピークアウトが12月末の場合、▲1.7%(三菱総合研究所)」

との予測があります。

社会福祉法人・福祉事業所における職員・利用者等の感染が報酬の減収に繋がる直接的なリスクとともに、日本経済の悪化が間接的に社会福祉法人経営に悪影響を与える可能性もあります。

社会福祉法人経営に直接影響を与えている人材不足については、引き続き最大の経営リスクとしてあります。介護職員等に対する介護職員処遇改善加算の対策が行われたものの抜本的な解決とはなっていません。令和7年には、団塊の世代がみな後期高齢者である75歳以上になりますが、医療・介護等社会保障費の増大とともに、福祉・介護人材の不足はますます大きな社会問題となります。

また、残業時間の上限規制、同一労働同一賃金などを柱とする「働き方改革関連法案」や厚生年金の短時間労働者に対する適応拡大は、人件費の増加に繋がります。私ども法人の総事業費収入に対する人件費比率は70%を上回っていますので、人材不足とともに人件費増は最大の経営リスクとなります。

令和2年度障害保健福祉部の障害福祉サービス関係費の概算要求は、1兆6,360億円（対前年度+1,323億円、+8.8%）となっています。

令和2年度は、令和3年度の報酬改定に向けての議論が始まりますので、これを注視しなければなりません。特に報酬改定にサービスの質の評価を導入するとの考えを示していますので、私ども福祉事業者は具体的な提言をしなければならないと考えています。

2. 令和2年度方針策定における基本的視点

(1) ニーズ、障害福祉事業環境の変化に対応した支援サービス・事業の見直しと収支の改善

令和元年度の収支については、当期資金収支がマイナスとなる見通しです。

以下が主なマイナス要因と令和2年度に向けての主な対策です。

①「レジデンスなさはらもとまち」の開設に伴う人材確保について

令和元年4月に「レジデンスなさはらもとまち」を開設しましたが、人材難の影響を受け、運営に必要なとなる世話人（パート職員）の確保ができませんでした。その影響で1棟（定員7名）が開所できず、当初予測の収入確保ができませんでした。

令和2年度開所に向けて人材確保に鋭意努力

をしていますが、何とか現在確保できた人材を活用して開所したいと考えています。

②児童発達支援部「自閉症療育センターLink」、 「サポートセンターPASSO」における療育児 の確保について

「自閉症療育センターLink」（平成20年4月開設）は、大阪府の発達障害児に対する早期診断・療育支援の政策の下、大阪府の6保健福祉圏域に各1か所の自閉症・発達障害児の療育ニーズに対応した専門療育機関として整備されました。同時に、保健福祉圏域内の児童発達支援事業所の自閉症・発達障害児支援についての専門性向上のためのコンサルテーションなどの支援をする機能も付加されました。「自閉症療育センターLink」は北河内圏域の専門療育拠点の機能を有しています。

「自閉症療育センターLink」における定員割れの要因として、療育拠点事業開始から15年が経過し、身近な地域における児童療育支援事業所の整備がなされてきたこと、療育拠点事業所からのコンサルテーションなどにより、児童療育支援事業所の自閉症・発達障害児に対する支援力が向上したことがあります。

大阪府では、自閉症・発達障害児支援についてのニーズ把握と分析を行い、今後の「療育拠点」の在り方についての検討を「療育拠点」受託法人を含めて行っています。

大阪府は、今後の「療育拠点」の在り方について、「大阪府発達障がい児療育拠点に求められる機能は、見直しの節目の時期にある」として、次の提言をしています。

- ・障がい児通所支援事業所が急増し、療育拠点が実施してきた個別療育と類似の取組も見

られる中、障がい児通所支援事業者との違いを明確にしていくことが、地域で療育拠点の活動を浸透させるために不可欠

- 障がい児通所支援事業所が地域において良質なサービスを提供できるよう、療育拠点がこれまで培ってきたアセスメント機能や子どもへの支援に関するノウハウ等を活用し、支援者向けのコンサルテーション等の取組を広げていくことが必要
- 療育拠点については、よりその役割に見合った名称として「発達支援拠点」とする

この大阪府の提言を踏まえ、令和2年度では、「発達支援拠点」としての機能の在り方とその機能を支える人材の育成についての検討と実践、大阪府に対する提言を行うことが重要となります。

また、それぞれの福祉圏域の療育ニーズの把握と分析を通じた圏域内行政との協議と連携を積み上げなければならないと思っています。

「自閉症療育センターLink」は、利用定員60名に対して、令和元年度は45名の療育児の確保にとどまりました。令和2年度に向けて、60名の療育児確保に鋭意努力をしていますが、確保ができない場合は、定員の削減を行いそれに応じた職員の配置、療育の工夫を行います。

令和2年度の具体的な収支改善対策として、「児童デイサービスセンターan」の事業所を「サポートセンターPASSO」の事業所に移し、「サポートセンターPASSO」の利用定員と運営の見直しを行うとともに運営の効率化を図ります。

児童発達支援部の職員配置の調整については、令和2年度から開始する「発達支援あゆみ（豊中市児童発達支援事業所あゆみ）」における単独通所事業（定員40名）を含めて検討します。

また、人材の育成、療育事業所の連携強化、

今後求められる療育ニーズと新たな機能についての協働の取組を進めるために、「発達支援あゆみ」を「児童発達支援部」事業として組織再編を行います。

③就労支援部「ジョブジョイントおおさかたかつきランチ」における利用者確保、「LaLa-chocolat TAKATSUKI」の職員配置について
障害者雇用促進法における民間企業の雇用率の引き上げ（2.2%から令和3年3月末までに2.3%）や人材不足、就労移行支援事業への株式会社等の参入による就労移行支援事業所の増加、支援学校の企業就労支援の強化等、障害者雇用環境の変化などの影響により、「ジョブジョイントおおさか」における今年度収支は当初予測を大きく下回る結果となりました。

特に「ジョブジョイントおおさかたかつきランチ」では、企業就労実績は上がるもののそれに伴う利用者確保ができず、マイナス収支となりました。

令和2年度に向けての収支改善の対策として、「ジョブジョイントおおさかたかつきランチ」の定員を「就労移行支援事業20名を15名、自立訓練事業20名を15名」に変更することとしています。

また、利用者確保に向けての営業の強化、他の就労移行支援事業所との差別化の検討を進めます。

「LaLa-chocolat TAKATSUKI」については、利用者の障害特性とニーズを踏まえた職員配置を行っていますが、就労継続支援B型事業所の職員配置基準よりも多くの職員を配置している結果となっています。令和2年度も引き続き収支の改善と利用者の活動環境の改善に向けた検討を行います。

工賃支給額については、令和2年度の目標工賃を設定して、引き続き目標工賃の達成を目指して、販路の開拓、営業を行います。工賃支給基準の見直しの検討と実施をします。

④地域医療支援部「すぎのご訪問看護ステーション」の利用者確保・人材育成について

法人設立以来初めてとなる居宅支援事業「すぎのご訪問看護ステーション」は、1年間のモデル試行を経て、令和元年4月に開設と運営を始めました。開所から利用ニーズは漸次増加しています。しかし、開設初年度であり、9月までは採算ベースに達する利用者数が確保できなかったことや、運営や訪問業務の確立、新規採用医療専門職の現任訓練に時間を要しました。

令和2年度は、職員育成や運營業務の確立・効率化により利用ニーズの増大に応えることで、収支改善の目途を立てています。

⑤指定特定相談支援・指定一般相談支援事業「生活支援センターあんだんて」、指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業「こども相談支援センターwish」の運営について

「生活支援センターあんだんて」、「こども相談支援センターwish」とも平成24年4月に開設しました。相談支援事業は国の制度的課題もあり、多くの相談支援事業所の運営は総じて収支状況が赤字になっています。私ども法人の両相談支援事業も現在まで収支赤字で推移してきました。しかし、法人の収支状況が赤字に転じた令和元年度を契機として、その在り方の検討を始めました。

私どもが目指す改革の方向性は、相談支援のサービス水準を落とすことなく、赤字収支からの脱却です。

そこで、法人3相談支援事業所の「大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか」「生活支援センターあんだんて」「こども相談支援センターwish」と「人材育成研修室」を統括する「(仮称)相談・人材育成研修部」とする組織改編を行います。この組織改編を通して、組織連携によるそれぞれが有する機能強化を目指します。

特に現在、様々な重篤な「行動的課題」のあるいわゆる「強度行動障害」のある人に対する支援スキルの向上が国レベルで求められている現状があります。同時に、「強度行動障害」のある人の支援スキル向上を目的としたスーパーヴァイザーによる事業所コンサルテーションを求める法人・事業所のニーズが増えてきています。

大阪府においても令和2年度から大阪府の6保健福祉圏域に1か所の「強度行動障害」のある人のためのグループホームを設置して、将来的には「強度行動障害」のある人を支援する支援者養成のためのコンサルテーションを担う拠点としての役割を創設するモデル事業を推進する予定です。

法人として、人材育成研修室の従来機能を活かし、その要請に応じていきたいと考えています。同時にコンサルテーションを担える人材の育成を組織的に行っていきたくと思っています。そして、この取り組みを通して法人利用者への支援力の向上にも繋がります。

(2) 法人中期計画未達成事業・令和2年度新規事業の運営への注力

①「ジョブサイトひむろ」の整備

長年の懸案事項であったジョブサイトひむろの

整備は、現在の場所での建て替えの方向でようやく目途が立ちました。そのため、今年度は、地主さんを始め関係各所とのコミュニケーションをなお一層密に図り、令和2年12月に1期工事の着工、2期工事の補助金申請を行い、令和4年4月の開設を目指します。

②「レジデンスなさはらもとまち」の全面開所

令和元年4月に開設した「レジデンスなさはらもとまち」は、職員の確保が課題となっており、2棟14名定員のところ、2番館7名の利用者のみの入居でスタートしました。10月には1番館の1階のみ、体験入居が可能な人員まで揃いましたが、全面開所には至っておりません。令和2年4月からの全面開所を目指し、職員の確保、利用者の受け入れ等の準備を行っております。

③十三地区グループホームの開設と運営

開設予定地がようやく見つかって建設の準備が始まりました。令和2年2月より基礎工事が始まり、7月末には建設完了の予定です。9月からの開所に向け進んでいます。今後は整備スケジュールに基づきパート職員の確保や利用者のアセスメント、室内の環境整備を進めていきます。

④高齢化・重度化対策

平成31年度年度方針に掲げていた萩の杜利用者の重度・高齢化に対する長期計画作成の検討について「萩の杜 重度・高齢化対策プロジェクト」を開始しました。重度・高齢化対策については様々な視点での準備が必要となりますが、プロジェクトでは5年から10年後の萩の杜を想定して、「より個別化した支援を目指し、居住ユニットの小グループ化と個室化」を実現するための計画作成に取り組んでいます。プロジェクトの開催期間は1年を予定しているため、令和2年8月頃

を目途に一定の計画を示すことができるように引き続き議論を進めます。

(3) リスク管理体制の強化を図る

①新型コロナウイルス感染防止の組織的な取り組みを徹底する。

利用者の健康を守ることは支援の基本です。新型コロナウイルス感染が拡大する状況下において、利用者保護者、関係機関との連携を図り、感染予防の対策を講じます。

②利用者の安全・安心な暮らしの提供を推進するための事故・リスク管理の組織的取り組みを強化する。

「レジデンスなさはら」で、昨年12月の朝食時に起きた事故（朝食の喉詰りによる死亡事故）について、第三者委員による「事故検証委員会」において、事故原因の分析・究明と今後の対策についての報告書がまとめられます。

この報告書の提言を踏まえて、法人としての再発防止対策と事故・リスク管理の取り組みを強化します。

(4) 人材確保と育成、労働環境の改善

①人材確保対策の検討と推進

大学等新卒者、既卒者の確保については、組織を挙げて大学内での説明会・各種説明会・法人独自説明会、事業所見学・インターンシップ、法人ホームページの見せ方の工夫、新しい法人パンフレットの企画・作成などを取り組みました。その結果、法人理念・ミッションに共感する人材の確保ができています。

しかし、「レジデンスなさはらもとまち」の全面開所ができないなど、非常勤職員の確保は極めて厳

しい状況にあります。法人職員による人材紹介制度の創設などの取組を進めていますが、抜本的な解決には至っておりません。引き続き改善策の検討を進めます。

同時に外国人支援員採用の検討に向けて、「外国人技能実習生監理団体」における実態の調査や視察などを進めます。また、外国人留学生の活用も検討します。

②組織的な人材育成

人材確保への対応を図ると共に、人材の育成および定着についても取組を進めていきます。その第一歩として、高槻地区の課長級職員を中心に新人研修の見直しを図っております。今後は法人全体研修の在り方やeラーニングの積極的な活用についても議論を進めていきます。また、過去の人材育成プロジェクトで作成したキャリアパスの活用についても検討を進めていきます。

③女性管理職の登用とワーク・ライフバランスの推進

第4次中期計画の目標に掲げられている女性管理職の積極的な登用と女性管理職に対する育成とサポートを行います。

また、女性管理職も含めて女性職員が働きやすい職場環境づくりの一つとして、企業内保育所の設置・運営に向けた取組を引き続き行います。

④組織内・事業所間等、職員間のコミュニケーションの活性化

法人の「理念」「使命」「ビジョン」の実現には、全ての職員がその実現に向けてベクトルを合わせて取り組まなければなりません。そのためには、事業所内はもとより、事業所の枠を超えた職員間のコミュニケーションの活性化が重要です。従来

から取り組んでいる事業所間交流の推進や法人全体研修でのグループワーク、プロジェクトの活用などを通して推進を図ります。

また、職員の利用者支援スキル・専門性向上の取組・業務改善の取組を推進する業務改善表彰制度については、定着が図られていますが、職員が日常的に企画提案でき、その評価ができる仕組みの検討を行いたいと思います。

令和2年1月から開始した職員の提案による理事長と職員が直接コミュニケーションする「タウンホールミーティング」について、引き続き令和2年度も法人全事業所で実施します。

(5) 利用者の権利擁護・虐待防止の推進

法人では利用者の権利擁護や人権意識をもって支援することが支援者の基本であると考え、毎年、法人全体および各部署において権利擁護虐待防止計画を作成し、2か月置きに開催している権利擁護虐待防止委員会にて計画の進捗状況を確認しています。

権利擁護虐待防止計画の大きなテーマとして「権利擁護虐待防止クレド」を支援員に浸透させることを目的に、eラーニングの視聴やクレド振り返りチェック等を実施しています。

また、一昨年よりPECSによる「表出コミュニケーション支援」の取組を開始しており、全ての部署の権利擁護虐待防止計画に盛り込み、支援に取り組んでいます。

(6) 地域貢献活動の推進

法人設立から22年が経過しましたが、その間、国、大阪府、高槻市において「公器としての社会福祉法人」の役割を果たしてきました。

厚生労働省に関わる働きとしては、「強度行動障害支援者養成研修」のプログラムの開発や強度行動障害の支援、障害のある人の意思決定支援に関連した推進事業（研究事業）への参画、「障害者虐待防止・権利擁護国研修」のプログラムの検討・研修講師、事業者・都道府県市町村の障害者虐待防止関係機関で活用する「障害者虐待防止対応の手引き」検討委員、強度行動障害のある人たちのグループホームの支援モデルの提示などの役割を果たしてきました。

大阪府に関わる働きとしては、平成14年6月に大阪府からの「大阪府自閉症・発達障害支援センター」事業の受託を機に、自閉症・発達障害のある人のライフステージに沿った支援サービスの在り方についての政策提言を行っています。また、障害者・発達障害者施策に関わる体制整備部会・ワーキンググループ等の委員、強度行動障害支援者養成研修・サービス管理責任者養成研修の講師・ファシリテーターを多くの職員が担っています。

高槻市においては、高槻市自立支援協議会における全体会・部会での委員や高槻市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会、高槻民間社会福祉施設連絡会、高槻事業所連絡会、たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク等で私ども法人事業所の管理職が役員・委員を担っています。

幼児・学齢期、青年・成人期の自閉症・発達障害者支援を担う事業所のある大阪市淀川区においても区自立支援協議会等の役員・委員を担っています。

令和2年度は、「公器」としての社会福祉法人の地域での役割と責任を果たすために、地域の社会福祉法人や既存の組織の枠組みを越えて、障害のある人たち・子ども・女性・高齢者・生活困窮者など支援を必要とされている方々の教育・福祉・生活・働きなどの分野で支援されている非営利組織・個人との連携を探っていきたいと思います。

平成28年に「障害者差別解消法」が施行されましたが、私ども法人のグループホーム建設に対する地域住民の方々の障害のある人に対する理解不足から、何度となく建設を断念しました。障害のある人の理解を進めるためには、地域で障害のある人が地域住民と「共に在る」環境を作らなければならないと思っています。地域に根差した具体的な取組を様々な非営利組織や個人との連携の中で進めていきたいと思います。第4次5か年中期計画で掲げた「地域を耕す」のビジョン実現に向けて、具体的な計画策定と実施を行います。

(7) 法人の社会的責任・法令順守

特に、残業時間の上限規制、同一労働同一賃金などを柱とする「働き方改革関連法案」や厚生年金の短時間労働者に対する適応拡大などの制度改定を踏まえて、非正規職員の方々の働きやすい環境の検討や改正法令を熟知し、法令順守を行います。

また、職員の方々への様々な苦情相談・解決窓口の活用に向けての周知を行います。

令和2年度 社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針

1. リスク管理体制の強化を図る

- (1) 新型コロナウイルス感染防止の組織的な取り組みを徹底する
- (2) 利用者の安全・安心な暮らしの提供を推進するための事故・リスク管理の組織的取り組みを強化する

2. 障害のある人のニーズ・障害福祉事業環境の変化に対応した支援サービス・事業の見直しと収支の改善

- (1) 「レジデンスなさはらもとまち」の全面開所に向けての人材確保を行う。
- (2) 児童発達支援部「自閉症療育センターLink」における療育児の確保、「児童デイサービスセンターan」事業所を「サポートセンターPASSO」事業所に移し、運営の効率化を図る。
- (3) 就労支援部「ジョブジョイントおおさかたかつきブランチ」における利用者確保、「LaLa-chocolat TAKATSUKI」における令和2年度目標工賃の達成と収支の改善を図る。
- (4) 地域医療支援部「すぎのご訪問看護ステーション」における収入確保を図る。
- (5) 「(仮称)相談支援・人材育成研修部」を設置し、「生活支援センターあんだんて」「こども相談支援センターwish」「大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか」「人材育成研修室」を統括する組織改編を行い、相談支援のサービス水準を落とすことなく、赤字収支からの脱却を目指す。

3. 法人中期計画未達成事業・令和2年度新規事業の運営に注力する

- (1) 「ジョブサイトひむろ」の施設整備事業を令和4年度に完遂する。

- (2) 令和2年4月に「レジデンスなさはらもとまち」の全面開所を行う。
- (3) 十三地区グループホームの開設と運営に注力する。
- (4) 「萩の杜」の高齢化・重度化対策についての検討を継続する。

4. 人材確保と育成、労働環境の改善

- (1) 引き続き人材確保対策についての検討と取組を進める。
- (2) 女性管理職の登用とワーク・ライフバランスの推進。
- (3) 職員間のコミュニケーションの活性化。

5. 利用者の権利擁護・虐待防止の推進

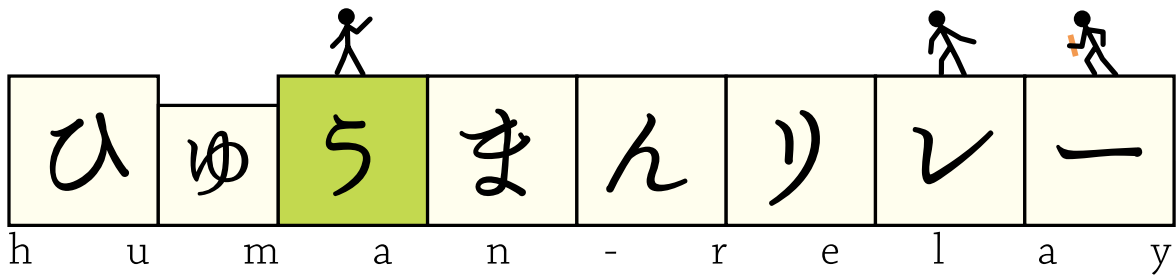
- (1) 利用者の意思決定支援を支える「社会参加(様々な経験への支援)」「自己選択・自己決定できる環境の提供と支援」「表出コミュニケーション支援」を推進する。

6. 地域貢献活動の推進

- (1) 障害のある人が地域住民と「共に在る」環境を作るために、地域に根差した具体的な取組を様々な非営利組織や個人との連携の中で進める。第4次5か年中期計画で掲げた「地域を耕す」のビジョン実現に向けて、具体的な計画策定と実施を行う。

7. 法人の社会的責任・法令順守

- (1) 「働き方改革関連法案」や厚生年金の短時間労働者に対する適応拡大などの制度改定を踏まえて、非正規職員の方々の働きやすい環境の検討や改正法令を熟知し、法令順守を行う。



あなたの笑顔はみんなを HAPPYにする

社会福祉法人 ゆうかり 理事長 ^{つるもとひこ} 水流 源彦さんより

「一」のところの、新型コロナウイルス感染症への対策は、厳しい局面を迎えつつ、長期的な対応を余儀なくされている中、令和2年度のスタートです。当法人は辞令交付式の後、まずは、保育園の入園式を執り行います。法人の理念としている表題の「あなたの笑顔」のあなたは、スタッフ、利用されている障害のある方々、保育園の子どもたち、そして、社会を構成するすべての方々のことを指します。2007年に開設したゆうかり保育園は、1967年からある、知的障害者入所施設ゆうかり学園を母体としており、医療的ケアの必要な子をはじめ、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもを当たり前前に受け入れることをコンセプトにしています。保育園には保育士の補助として、ゆうかり学園の利用者の方が、にこやかに、子どもたちのお世話をしています。

「ろ」一カルな話ですが、鹿児島市は人口59万4千人の中核市です。2017年10月に開設され当法人が受託する地域生活支援拠点（以下「拠点」）と、障害者基幹相談支援センター（以下「基幹」）を表裏一体、車の両輪ととらえています。基幹は、2012年10月に設置されまし

た。市内で相談支援事業所を運営する50法人が「運営協議会」として、ローテーションで基幹の運営を受託しています。知的、精神、身体、こども（発達）の各分野・各法人から、2年スパンのローテーションで人員が派遣されてきます。障害に関するすべての相談の「ワンストップ窓口」を標榜し、当事者・家族をたらい回しにしないという目標を掲げています。

「な」により、大切なパートナーシップですが、基幹では、毎月50数箇所の事業所から相談支援専門員が集まり、定例会（相談支援部会）を開催し、孤立しがちな相談支援専門員相互の連携や市民の福祉の向上のために、法人の枠を超えて活動しています。また、基幹は市障害者虐待防止センターも兼ねていますが、同センターの電話は24時間・365日の対応となるため、基幹の時間外（夜間・休日）は拠点に転送されるようになっています。拠点は24時間・365日体制でありとあらゆる相談に応じ、必要とあれば、それに伴うアウトリーチや緊急一時対応を担っているのです。

「げ」んざい、拠点は「安心コールセンター」の愛称で呼ばれていますが、その「安心」

が、地域で暮らす皆さんの安心につながればいい、と常々思っています。利用当事者、ご家族、そして、行政の方、最近では、警察関係の方。宿直体制には、現在13法人にわたる関係者が携わっていただいています。拠点の多機能事業部門で併設するグループホームの夜勤者が夜間の第一報を受電するのですが、その瞬間から、1人ではないという安心感をもって、どのような案件でも対応できるような心構えだけはできつつあると感じています。今後、さらなる安心を担保するという観点から、基幹が旗を振ってサービス等利用計画に加えていく内容を提案中です。具体的には「80・50問題」を見据え、保護者に何かあった場合、消防署（救急隊）が、基幹もしくは拠点に連絡をとれるシステムを構築するというものです。そうすれば、災害時の対応にも応用できると考えます。

きみ自身の器を自身で決めるな、と背中を押してもらえたことがきっかけで、さまざまなことにチャレンジができています。いまでも、そばにいてくれる大切な先輩からの一言です。当法人の保育園の取り組みは、社会的実験と考えています。実は、私自身の原風景、原体験に基づく構想でもあります。

た例えば、「障害」という概念をもつまえから、あらゆる人たちが周りにいたら、どうなるか？その先には、入所施設なんて必要なのではないか？そんなことを思い描きながら。といつても、現実問題にも対応すべく、地域生活支援拠点をはじめたりもしています。

いとが思想（近江学園創設者 糸賀一雄氏）の中でも、「自覚者が責任者」という言葉に、いつも奮い立たせられています。誰かのせいにするのではなく、自分たちで、やることを実践し続ける。機会があらわれたら、鹿児島にゆかり黒豚を食べにおいでください。



人気No.1!
大人も子どもも



誰もが住みたくなる機能性とデザイン性（木造4階建）



46 社会福祉法人 やうがり



～地域連携を考えて～



高槻しいたけセンターの代表をしております渡邊美広（よしひろ）です。

当センターは高槻市の檜田地区にある高槻森林観光センターの中にあり、年間を通してしいたけを栽培し、来られたお客様にしいたけ狩りということで収穫の体験をしていただいております。

もともと父がこの仕事を始めたのですが、平成12年ごろから私が主になって経営の方をするようになりました。

檜田地区は高槻でも一番北にある山間地で、農業の盛んなところですが、昔は山の木を切って炭焼きをしたりするのが盛んで、私の祖父も炭焼きをずっとやっていたそうです。父は山の間伐や植林などをやっていたということから、しいたけ栽培を始めるようになったみたいです。

最近では山仕事も高齢化で、木を切る人が少なくなり、当店も毎年原木を仕入れているのですが、なかなか順調に入ってこないのが現状です。

しいたけ栽培にとって一番大事なのはやはりしいたけ菌の植え付け（植菌作業）です。

この大事な作業をジョブサイトひむろの皆さんにお世話になっております。

きっかけは平成26年ごろですが、私がSNSを通じて福祉関係の方とお知り合いになり、そこから当店の畑の作業やしいたけの植菌作業を請け負っていただくようになりました。

高槻しいたけセンター

代表 わた なべ よし ひろ 渡 邊 美 広 さんより

植菌作業は1月から4月上旬位の時期に行いますが、エアコンも何もないビニールハウスの中で結構寒い時もあり、雪が降るときもあります。当店のスタッフがナラやクスギの原木にドリルで穴をあけ、そこにジョブサイトひむろの皆さんにひとつづつ菌を手で植えてもらいます。植え終わったものは運搬車に載せていただき、またスタッフが外のほだ場に運び出して、仮伏せという状態で菌が原木にまわるのを待ちます。何品種かありますが、早いものでは9月ごろから使えるようになります。毎年1万本くらいの本数を植えていけないといけませんので、他の事業所の方や地元の方にもお世話になっていますが、結構重労働で大変な作業でもあります。でも、ジョブサイトひむろの皆さんはこつこつとやっていただき、また毎年楽しみにされてる方もおられるとお聞きしました。実際に植えていただいた原木は秋になってたくさんの実りとなり、多くのお客様にしいたけ狩りを楽しんでいただいております。

また、仕事の量としてもいつも同じくらいの本数をこなして下さるので、こちらとしましても仕事の計画が立てやすく、ありがたいことと思っております。



原木しいたけはすごく人の手がかかる仕事で、特に忙しい時だけ来てもらえるような方は少なく、福祉関係の方にはこれからもお世話にならないといけないと思います。また、利用者さんもしいたけの

仕事に関わることで、何か少しでも充実感を得ていただいたり、楽しんでいただければ私たちも幸いです。

福祉と環境リサイクル事業の連携について



株式会社アスク

取締役 ^{なが}長 ^{くら}倉 ^{じゅん}純 ^{べい}平 さんより

◆弊社紹介

株式会社アスクは大阪府枚方市に工場を構えており、全国のメーカー様から試作部品加工の依頼を受ける他に、全国から使用済の廃電線を回収するシステムを構築して、大阪府下の障がい者施設様と協働して、剥離した被覆と銅をリサイクルしております。

◆社会福祉法人北摂杉の子会様との連携について

弊社で回収した廃電線を北摂杉の子会様にて、剥離してもらっております。

剥離する機械は弊社にて製造しているので、安心・安全に作業いただけるような設計です。

今後も継続して作業いただけるように、お互いに思いやりの気持ちを忘れることなく、事業に取り組んでいきたいと考えております。

◆電線リサイクルについて

従来国内で発生した使用済みの電線類は、ほとんど国内でリサイクルされることなく中国やタイ・マレーシア等のアジア諸国へ輸出されておりました。理由は日本の人件費が高いことや、国内での環境汚染が挙げられます。

昨今、輸出された廃電線や廃プラスチック類が

海洋汚染の原因になっていると、TVでも大きく取り上げられる様になってきました。

しかし廃電線はキッチリと剥離作業を行えば、リサイクルすることが可能な資源です。

福祉とリサイクル事業が連携を取り合うことで

- 雇用創出の場が生まれる
- 資源をリサイクルできる
- 環境を守る活動にも繋がる

素晴らしい相乗効果が生まれます。

◆今後の世界レベルで考える資源の有効活用について

話は少し飛躍しますが、現在日本でも話題になっているポリ袋の有料化や、各メーカーへの再生プラスチックの使用要請等、今後は資源のリサイクルが世界中で注目されてまいります。リサイクルは手間がかかりますが、誰かが必ず取り組まないといけない事業ですし、資源にも限りがあり無限にあるものではありません。大阪府下での活動が全国的に広がることを夢見て、事業に取り組んでまいります。

引き続き、末永くお付き合い下さいますようお願い申し上げます。

個人レベルから事業所レベルでの支援へ 表出コミュニケーション支援からチームマネジメントを学ぶ



ショートステイセンターぶれす

支援員・介護福祉士 村田 拓也

■ はじめに

ショートステイセンターぶれす（以下ぶれす）は、より質の高い支援環境を目指し“レスパイトから個別支援へ”をテーマにしています。個別化から意思決定支援、そして現在は表出コミュニケーションへとチーム支援に力を入れて取り組みを続けています。



ぶれすは、入所施設萩の杜の中にある併設型のショートステイ事業所です。短期入所（宿泊）5名、日中一時支援（日帰り）10名の15名定員で受け入れを行っています。

高槻市以外の市町村からの受け入れなども行

い、現在で月100名近い方に利用していただける事業所となりました。しかし、“預かる”ことがメインの目的となってしまう、ご利用者ニーズをうまく反映できにくいと言う課題も生まれてきました。このようなことから、ぶれすが考えるレスパイトは、ご利用者の安心から始まります。笑顔で帰宅する姿をご家庭に引き継ぐことが、本来の姿なのだと思っています。

■ 経緯

今回の取り組みは、表出コミュニケーション支援の取り組みが、チームの支援の質の向上に繋がった、と言う事例報告です。

ぶれすは、これまでの取り組みで、支援環境を大幅に改善することが出来ましたが課題も残っていました。それは、利用者1人ひとりに合わせた環境整備です。これまでも様々な取り組みを行ってききましたが、月100人近いご利用者と、その組み合わせが都度変化する状況では、とても難しい課題でした。

これにぶれすの人員配置の問題が重なり、現場支援の対応が追い付かない場面も生まれてきました。声掛けを待ち続けて動けずにいる方、言葉で伝えることが苦手な方、こうした方々の訴えなどには、支援者の介入と声掛けや訴えを察する、といったことが必要になります。このような状況の中、ついには1日の受け入れ人数に制限をかけざるを得ない事態となっていました。

■ 課題の整理

課題を整理すると、

- ①応答コミュニケーション（ご利用者が声掛けや促しに応答で返答や行動をする）が慢性化していることが第一に挙げられました。
- ②さらに、チーム全体で支援の質の統一ができないといった問題も浮き彫りになりました。これらを踏まえての目標は、“少人数で支援の質の高いチームを作る”にしました。

■ 取り組み

新しい取り組みとして、表出コミュニケーション支援を行ないました。

表出コミュニケーションとは、自分の気持ちや考えを自発的に伝えるコミュニケーションです。ご利用者からの要求の機会が増えることで、指示や過剰な声かけを減らせます。

● 共用の余暇ボードで要求場面を作る

まずは、ぶれすで1番人気の余暇グッズ（おもちゃ類）の要求用の共用ボードを作成。余暇場で、欲しいものを上手く伝えられない、誰かと取り合いになる、などトラブルが1番多かったため、この場面での取り組みを最優先しました。



共用余暇ボード

● 個別に※PECSを取り入れる

次に、PECSを取り入れて個別にコミュニケーションブックを作成。おもちゃや余暇の少ない方については、お菓子やコーヒーの時間などを設け、個別に

カード要求場面を作りながら、各ご利用者の段階に合わせて支援を行なっていました。



個別ブック Hさん



個別ブック Kさん

※絵カード交換式コミュニケーションシステム（PECS）
自分の気持ちや思いを自発的に伝えることを学べるコミュニケーションシステム。詳細は後述。

● チームレベルでの支援の質の向上

チーム全体の支援の質を向上させるため、全職員が実体験と成功体験の出来る環境調整を実施。事前準備を重視して、9割を準備に費やし、残り1割を現場で行なう、ということ意識しました。

■ 成果

準備に時間はかかりましたが、ボードが出来てから間もなく、要求用ボードを使って要求する方がどんどん増えていきました。それ以外にも個別の取り組みをしていた方も、コーヒーの要求を覚えると、おかし、食後の薬、歯磨き介助などを自ら要求することが増えていきました。職員に要求出来ること

が増えたということは、「応答コミュニケーションが減った」と言うことです。

ご利用者が自分の思いを伝える方法を見つけたことによって、トラブルや不調場面が減り、職員と円滑にコミュニケーションが取れるようになりました。



Kさん 要求場面



Hさん 要求場面①

そして1番の成果はチーム支援の向上です。これは思いがけない成果となりました。ご利用者が要求することが増えたため、【カードを使って要求出来るご利用者】がいることに気付くことができました。



Hさん 要求場面②

これに気付いた現場の職員が、能動的にスケジュールの作り直しをしたり、コミュニケーション支援を見直したりすることが増え、チーム全体の支援の質が向上。その結果、職員が少ないという課題を質の高いチーム支援でカバーできるようになっています。

■ 最後に

今回の取り組みで【チーム支援の質の向上、応答コミュニケーションの減少】はもちろんですが、ご利用者の表出コミュニケーション支援を通して、チームマネジメントの本質を学べたことは本当に良かったと思います。今後も、この経験を活かし様々な取り組みに繋げていこうと思います。

※絵カード交換式コミュニケーションシステム (PECS) ⑧

PECS®ってなに？

アンディ・ボンディ (Ph.D.) とロリ・フロスト (MS.CCC-SLP) によって開発されたコミュニケーション支援システムです。

PECSは6つのフェイズ(段階)から成り立っており、対象者が一枚の絵カードを“コミュニケーションパートナー”に渡すところから始まります。絵カードを渡されたコミュニケーションパートナーはすぐにその交換を要求として受け取り、要求を叶えてあげます。次に、絵カードの弁別(認識)を教え、そしてどのように文を構成するのかを教えます。さらに上のフェイズでは、対象者は修飾語を使ったり、質問に答えたり、コメントしたりすることを教わります。PECSの最優先の目標は機能的コミュニケーションを教えることです。

研究の中では、PECSを使っている中で発語が出るようになった生徒もいることがわかっています。音声表出機器(SGD)に移行する方もいらっしゃいます。PECSがエビデンスベースの介入であり、PECSの効果を実証する研究は沢山発表されており、増え続けています。今現在世界中で150以上の研究が発表されており、PECSの効果を裏付けております。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン株式会社の
オフィシャルホームページより抜粋
<https://pecs-japan.com/>

レジデンスなさはらの「基本的価値観」の リニューアルについて



レジデンスなさはら 主任

社会福祉士・介護福祉士 ^{たけ} ^{うち} ^{くみ} ^こ
竹 内 久美子

■ はじめに

「基本的価値観」とは、その組織にとって最も大切にしたいことで、職員の考え方や態度、姿勢を明示し、組織の雰囲気や文化を作るものと言われています。

レジデンスなさはらでは、基本的価値観として「職員の心得～なさはら3か条」を作成していましたが、開所6年目を迎え、「3か条の内容をチームとしてほぼ意識づけ出来てきたこと」「ご利用者の状態像や生活の質も変化してきたこと」の2点より、新たな職員の心得が求められる状態となっていました。

「基本的価値観」のリニューアルを実施し、新たなご利用者の支援の指針としていくこととしました。

■ 過程

グループホームのレジデンスなさはらでは、多くの職員が日々現場の支援にあたっています。「基本的価値観」をリニューアルするにあたり、上長のみで作るのではなく、作成から決定までの過程に現場の職員が関わることでより強く意識できると考え、以下の工程で作成しました。

①まず、全職員に「ご利用者が何を大切にしたいか」をイメージして書いてもらうアンケートを実施しました。

②このアンケートを基に会議を実施。付箋に意見を書いて貼りだし、意見をまとめていきました。さらに、合意形成に特にこだわり話し合いを重ねました。

③新しい「基本的価値観」の周知方法として、ポスターを各館に掲示すること、全職員の名刺裏に印刷し配布しました。

④デザインはデザイン会社に依頼。会社は地域の資源を開拓する意味を込めて、高槻のデザイン会社3社に依頼し、その内の1社に決定しました。

⑤9つの案を頂き、全職員が決定の過程に関わることができるよう投票制にして、1番得票数が多かったデザインに決定。

⑥決定したデザインのポスターを各館に掲示。また、全職員に「基本的価値観」を印刷した名刺を配布しています。

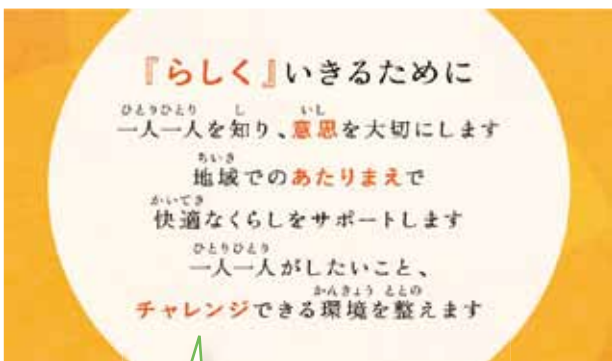
⑦日々意識していただくために、年2回全職員に向けて実施している、支援や業務についての自己の対応に関する振り返りチェックシートにも、新しい「基本的価値観」に沿った項目を作成。



全職員のアナケートで243件のご意見をいただきました



アナケートを基に会議で合意形成を進めていきました



決定した基本的価値観です。全職員の名刺の裏面に印刷し、各館にも掲示しています

■ 効果

- 「基本的価値観」を現場職員が自分たちの力でまとめたことは、大きな自信につながり、組織全体の結束力も高まりました。
- 余暇のイベントでも「基本的価値観」を目的に掲げて、本人のニーズと調和した企画を考えました。
- 『『らしく』いけるために』を実現できるようなアイデアが、多くの現場職員から積極的に出てきています。
- 多数の職員が関わっていく中で、なさはらとしての「基本的価値観」があることで、支援の方向性について統一がしやすく、実効性もあがっています。

■ 今後について

新しい「基本的価値観」は、ご利用者が『らしく』いけることを大切に支えていくことを宣言しています。ご利用者には、お1人おひとりの生活があります。そして、私たち職員が「基本的価値観」を胸に以下の3点を実施していくことで、ご利用者の生活には無限の可能性が広がっていくはずで

「ご利用者を知り、意思を大切に、地域であたりまえの生活を支えていく」

「地域で暮らすことは、決して特別なことではない。自然なことなのだ」

「したいこと、また今まで経験してないことにチャレンジする」

今後も、新しい「基本的価値観」を大切に、ご利用者の生活を支えていくことができるよう、チームで取り組んでいきます。

療育の中でのワークシートを活用した 保護者支援の取り組み



児童デイサービスセンター an 児童発達管理責任者
にしがみね さとこ
保育士・介護福祉士 西ヶ峯 佐登子

1.はじめに

児童デイサービスセンター anでは、平成16年から平成24年までは法人の公益事業とし主に*オアシスの会員様向けに療育をさせていただいていました。平成25年からは、発達障がいのあるお子さんが家族とともに、地域社会の一員として自尊心を持って自分らしく自立した生活を送ることができるよう支援するため、療育と保護者研修を行う専門療育機関の委託を大阪市から受け、個別療育を実施しています。大阪市の発達障がいの専門療育は、利用の決まりとして年少から小学校3年生までのうちの1年間(療育20回、保護者研修10回、1回1時間)で終了となります。

*「自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス」:大阪自閉症支援センターが平成14年に当法人と合併する際に発足した親の会・後援会

2.経過について

法人の公益事業としていたころは、療育を受けられるまでお待ちいただく期間に大阪自閉症支援センターでの保護者研修や療育相談を実施していました。そのため療育を受けに来られる時には、すべての保護者が発達障がいの理解を一定持たれており、ご家庭でも実際に支援に取り組んでくださっている状態でした。

3.取り組みについて

こういった発達障がいの方への支援についての情報がたくさんある中で、保護者からよくお聞きするのが、「色々アイデアを見るけど、わが子に何があるのかが分からない。わが子でやってみるとうまくいかない」ということでした。

そこで、保護者同伴で療育にご参加いただくという特徴を生かし、事業所が保護者に提供できることは何かを考えたときに、「保護者と一緒に、お子さんの強みや学び方の特徴、活動しやすい環境の設定やかかわり方の工夫などについて観察し、なぜそうなったのか?なぜそういった行動をされたのか?を考えることを提供できるのではないか」と気づきました。

しかし、1回1時間の療育の中で、スタッフがお子さんへの対応と同時に保護者に全てのことを説明することが難しく、取り組み方法を工夫する必要性がありました。

そこで、以下の3つの目的を持って、各保護者に合わせたワークシートを活用するようにしました。

- (1)療育の目的や、各活動でのお子さんの目標について明確にする
- (2)各活動でのスタッフの動きや、どの様な支援を、こういった目的で実施しているのかを明確にする

(3) 療育の中で質問したいことや、日常生活での相談をワークシートに記入して頂くことで、保護者とスタッフで共有できるようにする。質問や相談には、返答をお返りする

2019年1月16日 (水)

【本日の療育スケジュールとねらい・ポイント】

スケジュール	ねらい・ポイント
①身支度	脱着後、着脱に合わせておやつや傾斜点セットなど、一人で開始の準備をします。声をかけなくても一人で出来るのがお楽しみです。
②スケジュール確認	スケジュールを確認します。チェックアイテム（ピカチュウのカード）をもらったら、自分で次の予定を確認することに取り組みます。
③自立課題	職業として、順番通りに一人で課題を完成させ、達成感や自信を味わうこと各員のとした時間です。手先の課題を中心に取り組みます。
④手紙活動	今日の手紙活動の時間では、脚本を見て、ラブレターを作成します。一人で出来たという達成感を感じます。
⑤先生と勉強（対面課題）	今日の先生と勉強では、以下の内容に取り組みます。 1) 鉛筆で書く —グリップ付き鉛筆を使用し、数字課題に取り組みます。 2) 手紙を見て書いてみる —手紙を見て、手紙通りに作成し、うまく出来たという体験を積み重ねます。 3) 工作「キラキラボトル作り」 —手紙を見てキラキラボトルを作ります。手紙を見て自分で作ることで出来たという体験を積み重ねます。
⑥手洗い	身体動スケジュールを見て一人で手洗いの場に行き、手洗いをします。
⑦おやつ	今日のおやつ時間の時は、離れた場所にいるお友達に挨拶を伝えるように取り組めます。
⑧自由絵画	写真とイラストの手紙を見て、一人で絵を描く練習をします。
⑨ゲーム	今日のゲームの時間では、スタッフと「箱合わせゲーム」をします。夢遊にルールを覚悟し、ルール通りにゲームに切り替わる練習をします。また、順番待ちを待つ練習をすることに取り組みます。
⑩おそび	今日のあそびの時間では、以下の内容に取り組みます。 1) 新しい玩具を遊べた相手に褒めます。 2) 絵紙を見て、事前に約束した時間になったら終わる練習をします。
⑪終わりの歌	歌とカウントダウンをして終わりの会をします。
⑫身支度・帰途	自分ひとりで自立して身支度をし、帰途することに取り組みます。

児童サービスセンター an スタッフ 本村

4. 成果について

保護者にワークシートを用いて療育の内容を説明することや、連絡ノートを活用し、日々の困りに対しお子さんの行動の原因を保護者と一緒に検討することで、療育の内容をより詳しく知っていただくことができました。また、日々の生活の様子をお伺いすることで、より地域生活を意識した支援を一緒に検討することもできました。

他にも、保護者にお子さんの行動の原因を説明いただく機会がなかで、問題が出てきたときにどのように考えて行くのか、その過程を知っていただくことができました。

保護者からも「子どものことで気づきを得られた」「異なった視点から考えるヒントをもらった」「どうしたら子供が活動しやすいのかよくわかった」などの感想を頂くことが出来ました。

連絡シート

月 日

最近のお子さまの様子についてご記入ください。
特になしの場合、わからない場合は空欄で構いません。

◆家庭でのお子さまの様子

- ・朝の様子・・・
- ・帰宅後・家での様子・・・
- ・休日の様子・・・

◆幼稚園の先生から聞いたこと

◆anのスタッフに聞きたいこと・相談したいこと

5. 今後について

大阪市の発達障がい専門療育は、1年間（20回）という限られた機会になります。そのため、療育支援後も継続した支援を提供するために、療育終了後も地域での暮らしの中で、anでの支援を活用いただけるように、保護者と協同で支援について考えることのできる貴重な機会をもっと工夫して持てればと考えました。令和2年度は職員から気づきをお伝えするだけではなく、保護者に療育での気づきやお子さんのできたところ、難しかったところなどをワークシートに記録をつけていただき、職員と話し合うことやそれをもとに療育の中で保護者に支援を実践していただくことを検討しています。



杉の子 いいね!

凸レッツ凸
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

萩の杜



ショートステイご利用者の山田大祐さん!
季節をテーマに素晴らしい折り紙アートを制作しています。
萩の杜の玄関に飾らせていただいています。



ぷれいすBe



●職員コメント

ぷれいすBeでは、各ご利用者の余暇活動を拡げていく取り組みを行っています。
滋賀県の「やまなみ工房」の見学を通じて、今回の企画を提案いたしました。
題して、「あるがままフォトコンテスト!」各ご利用者がそれぞれの好きな活動を夢中で楽しんでいる瞬間を写真に切り取り、CafeBeに展示しています。
ご利用者、ご家族、カフェのお客様（地域の方々）に、「いいね!」と思う作品に投票していただき、優秀作品を選考する予定です。なかなか外出が難しい情勢ですが、この企画によって、事業所と地域の架け橋になることを願っています。



掲示板コーナー

(令和元年12月から令和2年2月まで)

法人事業部 掲示板

12月	行 事
4日	ノートルダム女子大学内説明会
6日	関西学院大学松岡ゼミ内説明会
9日	関西学院大学藤井ゼミ内説明会 関西福祉科学大学内説明会
9・23日	経営会議
11日	龍谷大学樽井ゼミ内説明会
13・27日	運営会議
14日	第3回法人研修(内定者研修) ノースカロライナ視察団・韓国視察団報告 講演会・指定討論・シンポジウム 「安らぎの街づくりと 障がいのある人の多様な働き方を考える」 社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成 氏 衆議院議員 辻元 清美 氏 衆議院議員 大隈 和英 氏 高槻市 健康福祉部 障がい福祉課 主幹 白本 友子 氏 高槻市社会福祉協議会 地域福祉課 木村 幸嗣 氏 たかつき・しまもと障がい者就労支援ネットワーク 代表 今井 司 氏
17日	第124回理事会 第1号議案 (仮称)レジデンスよどI号館の購入 並びに開設に向けての活動の件 第2号議案 独立行政法人福祉医療機構からの 借入の件 第3号議案 規程類の改正の件 第4号議案 苦情解決第三者委員選任の件 第5号議案 令和元年度補正予算案の件 第6号議案 事業計画進捗状況の件
20日	医療連携推進室会議 新入職員研修

12月	行 事
24日	総務管理会議
25日	大阪府立大学内説明会
27日	権利擁護虐待防止委員会

1月	行 事
6日	龍谷大学内説明会
6・20日	経営会議
8日	龍谷大学山田ゼミ内説明会
10・24・ 27日	運営会議
17日	医療連携推進室会議
22日	京都府立大学内説明会 総務管理会議

2月	行 事
10・25日	経営会議
14・28日	運営会議
15日	第4回法人研修(内定者研修) 法人内実践報告会 表出コミュニケーション支援公開講座 「表出コミュニケーション支援の重要性」 精神科医 門 眞一郎 氏 童夢 代表 中谷 正恵 氏
17日	FUKUSHI MEETS 採用イベント
21日	医療連携推進室会議 新入職員研修
26日	総務管理会議
28日	権利擁護虐待防止委員会

(河辺 記)

新入職員研修



萩の杜 掲示板



夕食は
焼き鳥屋さんへ!



休日はホットケーキを
作りました!



ミニスヌーズレンルームを作っています!

職員ミーティング



ぶれいすBeの
スヌーズレンを参考に
みんなで手作りしました。
ゆったりリラックス～



入籍おめでとうございます!
ミーティングでお祝いをしています!



(坂元 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

12月3日 たかつき〇まるしえ出店



ジョブサイトひむろでの陶芸商品の制作の様子をポスターにして紹介しました。



新商品が沢山並びました！
多くの方にお買い上げ
いただきました。

12月20日 クリスマス忘年会PARTY



今年は色々な出し物で盛り上がりました！



最後は食堂がダンスフロアーに！集合写真も撮りました。

恒例のカラオケ「銀座の恋の物語」！

2月3日 節分豆まきイベント



節分豆まきではなく、ボールで鬼退治イベントです。



「鬼は外！福は内！」赤鬼も青鬼もたじたじでした。

(近藤 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

12月	行	事
2日	地域支援マネージャー事業	研修会（能勢町）
4日	地域支援マネージャー事業	研修会（八尾市）
9日	ペアレント・メンター活動	（強度行動障害支援者養成研修）
10日	ペアレント・メンター活動	（和泉市）
11日	地域支援を考える会	支援者のための勉強会（事例検討）開催
13日	地域支援マネージャー事業	研修会（池田市）
16日	地域支援マネージャー事業	打ち合わせ（摂津市）
19日	ペアレント・メンター活動	打ち合わせ（豊能町）
20日	大阪府発達障がい児者支援体制整備検討会	成人ワーキング 出席
21日	発達障害者支援センター全国連絡協議会	近畿ブロック研修会 参加
23日	大阪府発達障がい児者支援体制整備検討会	子どもワーキング 出席
25日	地域支援マネージャー事業	研修会（東大阪市）
26日	令和元年度大阪府盲ろう者通訳・介助者養成研修	講師
	ペアレント・メンター打ち合わせ	（高槻市）

1月	行	事
9日	地域支援マネージャー事業	振り返り（八尾市）
10日	地域支援マネージャー事業	打ち合わせ（吹田市）
15日	地域支援を考える会	支援者のための勉強会（事例検討）
16日	地域支援マネージャー事業	振り返り（能勢町）
17日	ペアレント・メンター活動	（東大阪市発達障害者支援センターPAL）
27日	地域支援マネージャー事業	振り返り（池田市）
28日	ペアレント・トレーニングインストラクター情報交換会	開催

2月	行	事
1日	ペアレント・メンター交流会・スキルアップ研修	開催
3日	発達障がい者支援センター連絡協議会	開催
4日	発達障がい者雇用支援連絡協議会	
6～7日	忠岡町人権研修	講師
10日	地域支援マネージャー事業	事例検討会（東大阪市）
12日	大阪府発達障がい児者支援体制検討部会	出席
13日	ペアレント・メンター活動	打ち合わせ（松原市）
	ペアレント・メンター活動	（高槻市）
14日	大阪府発達障害団体ネットワーク	定例会
	地域支援マネージャー事業	研修会（吹田市）
17日	地域支援マネージャー事業	研修会（摂津市）
19日	ペアレント・メンター活動	（豊中市）
20日	ペアレント・メンター活動	（豊能市）
27日	地域支援マネージャー事業	振り返り（茨木市）
	ペアレント・メンター運営委員会	
28日	地域支援マネージャー事業	振り返り（吹田市）

（山根 記）

児童発達支援部

a n



まとあて



お買い物の練習



a z



先生とお母さんと一緒にゲーム



余暇の構造化(砂遊び)



余暇活動(砂遊び)



余暇支援：型抜きが上手に出来るようになりました

Link



おもちゃのお片付け



荷物の準備



先生とべんきょう

PASSO



動画を見てベビーカステラ作り



相談室の掃除機がけ



ミスタードーナツでティータイム



バレンタインのチョコケーキ作り

Will



高槻地区 公開講座



家庭での取り組みを保護者間で共有しました



グループで役割分担をして作成しました

(薬師寺 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

～バレンタインにちなんでチョコフォンデュをしました♡～



初めて体験される方もいて、皆さん興味深々でした♪

～日々のご様子～



雛飾りをつくりました!



ピザ作りをしました



お仕事もがんばってます!

ジェイ・ブランチよど

～冬の慰労会をしました～



1年間お疲れ様でした～カンパ～!!



1年間のアルバムをみんなで鑑賞しました

～ビンゴ大会の開催～



～2連続1位～



～慰労会の司会を頑張りました～



(段 記)

ぷれいす Be 掲示板

12月 

今回も土曜日を中心に様々な余暇・外出プログラムを実施しましたのでご紹介させていただきます



産業フェスタ



忘年会



 1月

初詣



衛生講習会

2月 



あべのハルカス



スイーツづくり



ポップコーンづくり

(下 記)

ジョブジョイント (JJ) おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

12月	行	事
5日	淀川合同面接会@淀川区役所	
7日	AM:土曜クラブ PM:就活のススメ(大学生向けサービス)	
12日	自分らしい働き方セミナー&就職相談会	
13日	大人の社会見学(造幣局)	
21日	AM:土曜クラブ PM:家族ミーティング、ジョイふるJJ(忘年会)	
1月	行	事
15日	成人のお祝い食事会	
18日	AM:土曜クラブ PM:ジョイふるJJ	
25日	自分らしい働き方セミナー&就職相談会	
29日	実践報告会	
2月	行	事
8日	自分らしい働き方セミナー&就職相談会	
15日	就活のハジメ#1(大学生向けサービス)	
22日	就活のハジメ#2(大学生向けサービス)	
24日	自分らしい働き方セミナー&就職相談会	
28日	避難訓練(たかつきランチ)	
29日	AM:土曜クラブ、家族ミーティング PM:就活のハジメ#3(大学生向けサービス)	

(富 記)

ジョブジョイントおおさか実践報告会

大妻女子大学の縄岡好晴氏をお招きし、ご講演いただきました。また、ジョブジョイントおおさかのスタッフより支援についての実践報告。2名のOBより現在の仕事についてお話していただきました。100名近い方にお越しいただき大変感謝しております。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



大人の社会見学

自立訓練のご利用者と造幣局へ見学に行きました。令和元年の貨幣は製造期間が短く、貴重であることを知り皆さん驚いておられました!



成人のお祝い食事会

今年度は8名のご利用者が成人を迎えられました。美味しい料理を食べながら色々な話で盛り上がりました。成人の皆さんおめでとうございます!





冬だ！バレンタインだ！！ チョコレートの季節だ！！

ララショコラでは12月から3月のホワイトデーまで、イベントが目白押しで、一年でもっとも忙しくなる時期です！ご利用者の皆さまも、スタッフも、チーム皆で一丸となり、協力をしながら今年も大盛況の中、繁忙期を乗り切りました。

おかげさまで、今年のバレンタイン、ホワイトデーもたくさんのお客様にご来店いただくことができました♪この場をお借りして、ご利用者、及び、スタッフ一同心より御礼申し上げます。



フルーツのチョコづけをたくさん頑張りました

高下さんフルーツチョコづけ



ひむろの家族会で商品を販売させて頂きました(^^)たくさん買っていただき、嬉しかったです

ジョブサイトひむろ家族定例会外販



たかつき支援学校の学習発表会でララショコラを販売させて頂きました！毎年たくさんの方が声をかけてくださって嬉しいです。

支援学校外販

婦人画報お取り寄せスイーツ♪

婦人画報



2020年1月より、なんとあの大人気！婦人画報のお取り寄せ通販サイトにて、ララショコラの限定マンディアンセットを購入できるようになりました！遠方の方もこの機会にぜひお試しください。

「婦人画報のお取り寄せweb」では、人気ショコラティエの他、国内外から集めた初登場ブランドも多く、サイトを見ているだけでもワクワクします♪

贈り物だけではなく、自分へのちょっとしたご褒美にもご利用いただけます。

検索サイトにて、「婦人画報お取り寄せスイーツララショコラ」と検索していただきましたら、お買い物ページにたどり着きます。ぜひ一度、ご覧いただけますと嬉しいです。



choco

(山田 記)

萩の杜家族会 掲示板

12月	行 事
11日	イオン黄色いレシートキャンペーン
	安全対策委員会
16日	①事故報告と確認について ②萩の杜高齢化プロジェクト
1月	行 事
11日	イオン黄色いレシートキャンペーン
25日	『家族のための成年後見人制度』の勉強会 ぶれいすBe (カフェBe) にて
27日	会長会議

2月	行 事
	役員会及び家族会定例会 (現代劇場)
3日	①萩の杜からの報告 ②家族会活動及び運営の見直し
11日	イオン黄色いレシートキャンペーン
	安全対策委員会
17日	①試食会 ②安全対策委員会 萩の杜プロジェクト
27日	サークル萩 法人本部

(事務局 山本 記)

ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

12月	行 事
18日	クリスマスプレゼント手配 (事務局役員) 家族会 会員 1名 退会 平原さん
1月	行 事
14日	役員改選集計 (事務局役員)
22日	第6回役員会 (高槻現代劇場 集会室201号)
27日	家族会会長会 (高槻現代劇場 集会室201号) 東会長出席
29日	事故検証委員会 東会長出席
2月	行 事
18日	第3回定例会 (高槻現代劇場 集会室206号) 出席者 会員34名 欠席者 15名 来賓 植松副理事長 平野理事 森田施設長 ・植松副理事長挨拶 ・地域生活支援部報告 平野理事より ・ジョブサイトひむろ活動報告 森田施設長より ・家族会報告 東会長より ・定例会後 臨時役員会
	事故検証委員会 東会長出席
22日	父親会 (がんこ高槻店) 会員有志会員 11名 法人より松上理事長以下6名 参加者 17名

(堀江 記)

ひむろ父親会



ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

12月	行	事
3日	12月定例会（淀川区民センター） 「松上理事長と語ろう」 法人出席：松上理事長、田端施設長 ジョブサイトよど家族会（出席者：10名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：4名）	
14日	よどおやじの会（たんぼぼ十三店） 法人出席：田端施設長、倉窪主任（ジョブサイトよど） ジョブサイトよど家族会（出席者：5名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：2名）	
1月	行	事
11日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（ジョブサイトよど2階）	
21日	家族会懇親食事会（がんこ十三本店） 法人出席：松上理事長 ジョブサイトよど家族会（出席者：8名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席者：2名）	
27日	家族会会長会（高槻現代劇場 集会室201号室） 出席：永井、玉木	
2月	行	事
4日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会（高槻現代劇場 集会室201号室） 出席：永井、玉木	
15日	法人全体研修 実践報告 分科会1（高槻現代劇場 集会室207号室） 出席：永井	
22日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会（アーリーアーク306号室）	

（永井 記）

ぶれいすBe家族会 掲示板

12月	行	事
5日	第五回参観&ランチ（担当役員：神戸、横山）参加者7名 建物の設備面やランチのメニューに関する意見、10年記念行事で永年勤続の方に「金一封」があるとよかった等々、話題は多岐にわたりました	
12日	役員会（ぶれいすBe会議室）出席者：9名（施設長を含む） 審議報告事項 ・家族会用のパソコンの更新について ・ひやりはっと報告会および第五回参観&ランチの報告 ・法人への寄付手続きの確認と文書配布 ・次期役員アンケートの確定と配布 ・掲示板原稿の確認 ・家族会電話相談員からの報告について意見を交換した	
16日	ぶれいすBe建物調査専門委員会の発足（専門委員：二井清治、事務局：厚東洋輔、下裕幸）	
20日	女性利用者のグループホームの会：通信4号、刊行（株式会社の経営するグループホームに新たに入居した男性利用者の見聞記掲載）	
23日	法人本部への寄付金の払い込み（北川・岸・厚東）	

1月	行 事
9日	役員会（ぶれいすBe会議室）、出席者：9名（施設長を含む） <ul style="list-style-type: none"> • 家族会用のパソコン、費用その他を考慮して新機種を購入することにする • 法人への寄付の確認 • 次期役員アンケートの集計→第11期役員候補の名簿作成については会長一任 • 来期の活動計画について（「参観&ランチ」の名称を変えたらどうか等々） • 「Beどうし」原稿の確認
10日	「Beどうし」1月号。「家族会より」というタイトルで「すぎのこサッカー大会」の報告（担当役員：中田）

2月	行 事
4日	北摂杉の子会後援会（参加者：厚東、和田）
13日	役員会（ぶれいすBe会議室）参加者：9名（施設長を含む） 審議報告事項 <ul style="list-style-type: none"> • 次期役員候補（アンケートの回答を尊重し、会計監査以外の役員10名について4名は交代、6名は残留とし、候補者リストを作成した） • 「参観&ランチ」の名称変更及び活動計画→正式決定は第11期役員会に一任 • 定期総会までの手順等の確認
20日	レジデンスなさはらもとまち親の会

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

12月	行 事
1日	DDnet第15回年次大会 シンポジウム1「発達障害児への早期支援：現状と課題」 シンポジウム2「早期の家族支援」「発達障害児の早期支援と特別支援教育：行政施策の現状と今後の展望」 ワークショップ 東洋大学 会長参加
7日	おやじの会 eショップ&カフェ谷町 7名参加
9日	午前：オアシス役員会 アーリーアーク405号 午後：施設取材：ジョブサイトよど つくね製造について田端施設長へ取材訪問 ペアレント・メンター活動 砂川厚生福祉センター 行動障害を持つ子どもとのこれまでをお話しました
10日	ペアレント・メンター活動 砂川厚生福祉センター 行動障害支援者養成研修で初めて活動しました
14日	そよかぜまつり 売り子体験 参加者2名 大阪市西区民センター

1月	行 事
10日	オアシス役員会 アーリーアーク405号
12日	オアシス25周年事業 オアシス講演会 内山登紀夫先生をお迎えして 講演①「青年・成人期の実態調査から見て、大切なこと、必要なこと」 新澤 伸子氏 講演②「これからの自閉症支援 現在から未来へ」 ～切れ目のない支援、ライフステージを考える～ 内山 登紀夫氏 来賓：社会福祉法人北摂杉の子会 松上利男理事長 参加者67名 クレオ大阪中央セミナーホール

2月	行 事
1日	おやじの会 大阪府ペアレント・サポート事業 午前：大阪府ペアレント・メンター交流会 午後：スキルアップ研修 講師：望月直人氏 場所：ドーンセンター大会議室 役員参加

2月	行 事
4日	公開講座(主催)大阪自閉スペクトラム症協会、(共催)オアシス 講演「自閉スペクトラム症、発達障がい児者の問題行動の対応」 中山清司氏 場所:ドーンセンター 参加14名
7日	一般公開 新澤伸子先生を囲んでの座談会 「切れ目のない支援」 場所:ドーンセンター 参加8名
9日	公開講座(主催)大阪自閉スペクトラム症協会、(協力)オアシス 講演「自閉スペクトラム症の医療とお薬の関わり方」 大久保 圭策氏 場所:ドーンセンター
10日	オアシス役員会 アーリーアーク405号
14日	大阪府発達障がい団体ネットワーク会会合 淀川区博愛社 会長・事務局長参加
22日	JKA助成金学習相談事業 (主催)一般社団法人日本自閉症協会、 (共催)大阪自閉スペクトラム症協会、(後援)オアシス 「学校生活での困難とサポートについて」松久 眞実氏 「発達障がい児・者への合理的配慮の現状」井上 芳子氏 座談会 場所:ドーンセンター大会議室

(福田 記)

オアシス25周年事業 オアシス講演会



北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<報告事項>

I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄 付
4月	399	(1%)	25	(0%)	2
5月	402	(33%)	25	(24%)	4
6月	407	(35%)	25	(28%)	4
7月	410	(38%)	25	(28%)	2
8月	411	(40%)	25	(32%)	1
9月	413	(41%)	25	(32%)	1
10月	413	(44%)	25	(32%)	1
11月	417	(52%)	27	(48%)	8
12月	428	(52%)	27	(70%)	2
1月	425	(57%)	29	(79%)	0
2月	426	(58%)	30	(80%)	0

2月末現在の増減・累計

個人:27名 団体:5 寄付:25名
資金 会費:1,116,000円 寄付:712,010円
合計:1,828,010円

II 今年度2月末までに会費、寄付金合わせまして1,828,010円の資金を頂戴いたしました。

ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 臨時役員会を開催(2020年2月4日)し下記の案件について確認

1 今年度の会員動態と資金の推移について

2 その他

- ・顧問の状況確認
- ・来年度計画、目標の設定
- ・会員特典の検討
- ・次回定例役員会の開催予定

日時:2020年5月18日(月)13:30~15:00

場所:高槻現代劇場

(沖本 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

- | | | |
|-----------|------|---------|
| 1. 寄付金(注) | | |
| 2. 個人会員 | 年間一口 | 2,000円 |
| 3. 団体会員 | 年間一口 | 10,000円 |

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会

口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

法人へのご寄附に感謝いたします。(令和元年12月1日～令和2年2月29日)

干場光一 田伏久之 植松芳哲 河端良一 森田とよ子 間部成幸 棚山薫晴

後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和元年12月1日～令和2年2月29日)

遠矢洋子 本田成美 松原茂樹 村本順子 藤岡 宏 倉本ことみ 小林伸次 白倉俊雄 中西邦夫 本田英世
本田利秋 本田 聡 本田俊之 本田宏美 本田賀子 田中博子 圓佛誠一郎 結城越代 畑中孝雄 前田直俊
赤尾浩子 黒崎智之 黒崎香織 黒崎誓太 澤田隆生 鈴木都美 仁戸田照彦 篤田晴子 中村英一 関 隆志
関登美子 西井真弓 西井正美 高田弘美 高田英明 八田 隆 澤田幸子 篠原琴美

高槻市教職員組合 羽根田司法書士事務所 千里ハウジング株式会社 代表取締役 小山洋司

社会福祉法人 なみはや福祉会 中津保育園 社会福祉法人 高槻ライフケア協会

大弘建設株式会社 代表取締役 増田弘之 栗谷会計事務所 栗谷和昭 株式会社 Lean on Me

株式会社 二井清治建築研究所 医療法人桜峰会 香川クリニック 島珈琲株式会社

特定非営利活動法人 あい・すまいる淀川 若松産業有限会社 中村英一 トヨタカローラ新大阪株式会社 名神茨木店

後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和元年12月1日～令和2年2月29日)

宮本東雨 津田敬子

家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和元年12月1日～令和2年2月29日)

前田富士江 木内一美

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2020年4月30日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 - **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 - **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら** (生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
 - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす** (短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
 - **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
 - **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
 - **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
 - **レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
 - **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいすBe** (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
 - **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか** (発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 - **児童デイサービスセンター an** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
 - **こども発達支援センター will** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 - **こども相談支援センター wish** (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
 - **自閉症療育センター Link** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 - **こども発達支援センター az** (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区长居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
 - **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 - **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 - **ジョブジョイントおおさか** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
 - **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ** (自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 - **すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
 - **発達支援あゆみ** (豊中市児童発達支援事業所あゆみ) (個別療育・障害児一時預り事業・単独通所)
〒560-0054 豊中市桜の町3丁目12番10号
単独通所 あゆみ
TEL (06)6841-1551 FAX (06)6841-9467
個別療育 カラフル・一時預かり りーふ
TEL (06)6398-7755 FAX (06)6841-9467
- 【法人自主製品店舗】**
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※ ■は行政よりの委託事業